

事務連絡
令和6年1月23日

一般財団法人
沖縄観光コンベンションビューロー
会長 殿

沖縄県文化観光スポーツ部長

節水対策について

沖縄地方は、8月に台風襲来後、まとまった降雨が少ないことにより、ダムの貯水率が例年に比べ大きく低下しております。

令和6年1月23日現在、ダムの貯水率は56.4%となっており、平年値の78.7%を22.3ポイント下回り、例年に比べ厳しい水事情となっております。

こうした状況を踏まえ、令和6年1月23日に沖縄県渇水対策本部会議が開催され、節水対策が決定されたところです。

つきましては、厳しい水事情をご理解頂くとともに、節水対策について、下記を参考に、関係団体へ周知して頂くようご協力をお願いいたします。

記

1 節水に係る取組例

(観光事業者への呼びかけ)

- ・蛇口はこまめに閉め、流しすぎない
- ・トイレの2度流しを控える
- ・洗車や施設内の散水を控える
- ・水漏れがないかの点検や、水漏れ箇所の修理
- ・利用客への節水の呼びかけ

等

(観光客への呼びかけ)

- ・シャワーは短時間、こまめに締める
- ・洗面時等の流し洗いをしない
- ・トイレの大小レバーの使い分け
- ・浴槽には溢れるほどの水を張らない

等

2 添付資料

- ・「水事情の悪化に伴う節水のご協力について（R6.1.23付沖縄県渇水対策本部会議）」

連絡先：沖縄県 文化観光スポーツ部 観光振興課 玉城（TEL：098-866-2764）

水事情の悪化に伴う節水のご協力について

令和6年1月23日

沖縄県渇水対策本部

副本部長 沖縄県副知事 照屋 義実

最近の水源状況は、令和5年9月からまとまった降雨が少ないことにより、ダムの貯水率が例年に比べ大きく低下しております。

令和6年1月23日現在、ダムの貯水率は56.4%となっており、平年値の78.7%を22.3ポイント下回り、例年に比べ厳しい状況にあります。

こうした状況を踏まえ、本日、沖縄県渇水対策本部会議を開催し、節水対策を決定いたしました。

給水制限が行われたのは30年前であり、今回の節水対策につきましては、まず、国や県機関において節水の周知徹底を図るとともに、若い世代への取り組みを念頭に置きながら、市町村、学校、そして県民の皆様や大口需要者たる工場、ガソリンスタンド、ホテル等に広く節水協力の呼びかけを行っていくこととしております。

県民の皆様におかれましては、こうした厳しい水事情をご理解いただき、日々の生活において、水の使い方を工夫したり、節水器具を活用するなど、節水にご協力くださるようお願い申し上げます。

問い合わせ先

沖縄県渇水対策本部事務局

県企画部地域・離島課

島袋、神谷、伊波

電話：098-866-2370

FAX：098-866-2068

● 私たちにできる節水

沖縄県では1日に1人が使う水の量が

バケツ約26はい分



(生活用水の1人1日平均使用量とバケツ容量(12ℓ)をもとに換算したものです)
参考資料：令和4年版日本の水資源の現況(国土交通省)

【家庭で簡単にできる節水方法】



シャワーは短時間で。湯船に残った水もそうじに使う

☆シャワーを1分短くすると…
500mlペットボトル約24本分(12ℓ)の節水



水洗トイレは大小レバーを使いわけて

☆大レバーを1回小レバーにすると…
500mlペットボトル約4本分(2ℓ)の節水



食器洗いは容器に水をためて

☆流しっぱなしを1分短くすると…
500mlペットボトル約24本分(12ℓ)の節水



まとめて一度に洗う

☆まとめ洗いで1回洗濯を減らすと…
500mlペットボトル約300本分(150ℓ)の節水



歯みがきはコップにくんで

☆出しっぱなしを1分短くすると…
500mlペットボトル約12本分(6ℓ)の節水



●他にも…

車洗いはバケツにくんで

節水の具体的方法

1 職場における節水

- (1) 蛇口はこまめに閉め、流しすぎない。
- (2) 節水コマや節水型の泡沫器等の取り付けにより水量を調整する。
- (3) 来客に対する湯茶、コーヒー等のサービスは自粛する。
- (4) トイレの二度流しを極力控える。

2 家庭における節水

(1) 洗面

歯磨き、洗面、手洗い時の流し洗いはしない。

(2) トイレ

ア 水の流し過ぎはしない。

イ 大小レバーの使い分けをする。

(3) 洗濯

ア 風呂の残り湯を使う。

イ 洗濯物はまとめて洗い、回数を減らす。

ウ すすぎの回数及び水位を減らす。

エ 洗剤は適量を使用する。

(4) 風呂

ア シャワーはこまめに締める。

イ 浴槽にはあふれるほどの水を張らない。

ウ 残り湯は捨てずに再利用する。

(5) 台所

ア 食器はため洗いする。(水の流しっぱなしはしない。)

イ 米のとき汁などは散水に使う。

ウ 食器や調理器具の油分は紙でふいてから洗う。

(6) その他

ア 洗車及び散水を自粛する。

イ ふきそうじは風呂の残り湯を使う。

ウ 庭の散水には洗濯の排水、風呂の残り等を再利用する。

エ 蛇口はこまめに閉め、流しすぎない。

オ 雨水をためて利用する。

カ 水漏れ箇所の修理を行う。

キ 節水コマや節水型の泡沫器等の取り付けにより水量を調整する。

3 その他

- (1) 水道管に漏水がないかどうかチェックする。
- (2) 雨水、井戸水、湧水等を利用する。(用途：庭水、散水等)